

□ □ □ □ □ □ □ □ □

公益社団法人 福岡県人権研究所

“りべらしおん” No. 63 (2023/11/17)

□ □ □ □ □ □ □ □ □

---

福岡県人権研究所は2024年9月28日で、  
前身の福岡部落史研究会創立から50周年を迎えます。

---

【現在研究所の蔵書を借りている方・これから借りようとしている方へ】

本の返却期限は、貸出日から1ヶ月以内です。現在借りている本が返却期限を過ぎている場合は、早急に研究所へご返却下さいませよう、お願いします。

また、返却の際は本の背表紙についているラベルと同じアルファベットの棚にお戻し下さい。

## I <報告>

### (1) ジェンダー一部会（天本）

2023年10月29日（日）（於福岡県人権研究所）

森崎和江『匪賊の笛』第2回学習会では、「民衆ことばの発生」「未熟なことば・その手ざわり」を読み合いました。参加者の感想です。

○ 抽象的な言葉が多く、私にはむずかしいところも多かったのですが、みなさんの考えや園田先生のお話を聞くことができ、自分の理解を深めることができました。ことばは自分を表すということ、体験を通したことばが生きたことばであるということ等、ことばの大切さを再認識しました。

○ ことばについて深く考えさせられた学習会でした。書き言葉をもってことばをたくみに駆使する者が権力をもつことになることがはっきりと分かりました。言葉は、本当の思いの深さをどれだけ表現できるのか、言葉のない人たち、炭鉱の地底の暗やみの中で働いた人たち、識字のお年よりの人たちの本当の思いを、やみの中で言葉をさがした森崎さんにもっと学びたいと思いました。同じ体験をすることが減っている今だからこそ、体を通したことばについて考えを深めたいと思います。

○ 森崎さんの父は、植民地朝鮮にいて「朝鮮民族を尊敬せよ」と言う人でした。また「女も男も一番大事なのは、精神の自由だ」と言い、妻を「さん」付けで呼ぶ人でもありました。そんな家庭で育った森崎さんだから、日本に来たとき感じたギャップの大きさ（それはことばのギャップでもある）は相当なものだったと思います。また当時朝鮮で使われていた外地用日本語は「無方言ことば」であったことも、森崎さんが「ことば」とは何か考えざるを得なかった一因だったとわかりました。

○ 個人的な体験の中からことばを紡いでいくしかないのだけれど、自分の発することばが、様々な人の思いや生き方にどれだけ近づけているのか？今さらのように考えさせられました。部落問題についても同様な事がいえます。「あごたんばかり」という「ことば」を私自身も、つきつけられたという思いも実感としてよみがえってきました。いつまでたっても「学び」を深めながら、自分に返していきたいと今さらながら思います。森崎さんの文章には、つき動かすものがあります。

※次回の活動予定：森崎和江『匪賊の笛』を読む学習会③（12月10日（日）14時～ 福岡県人権研究所）

「未熟なことば・その手ざわり」「肉体のことば」「差別と禁忌」を読み、考え合います。

## (2) 全国大学同和教育研究協議会秋季企画公開シンポジウム（理事：塚本）

2023年度全国大学同和教育研究協議会秋季企画公開シンポジウムは、2009年度（10月10日公開講座、11日糸島地区フィールドワーク、12日唐津フィールドワーク）に続き福岡県での開催は、2度目になりました。

本年度は、11月3日公開講座、4日田川・筑豊フィールドワークの予定で、福岡県立大学で開催されました。私は公開講座に参加したので、その内容を報告します。

司会進行は、ハヤシザキカズヒコさん（会員の福岡教育大学准教授）でした。

1 主催者挨拶 國井哲義さん（全国大学同和教育研究協議会事務局次長・千里金蘭大学名誉教授）

2 地元歓迎の挨拶 組坂繁之さん（部落解放同盟福岡県連合会委員長・IMADR 共同代表）  
新谷恭明さん（公益社団法人福岡県人権研究所理事長・九州大学名誉教授）

がありました。そして、4本の報告が行われました。概略を報告します。

・報告1 寺木伸明さん（全国大学同和教育研究協議会副会長・桃山学院大学名誉教授）からは、「筑前・豊前の前近代の部落史—関西の部落史と比較しながら—」という標題で、提起されました。○地域的独自性と全国的共通性の両面理解の重要性という切り口で、①筑前・豊前におけるかわた身分の起源と成立について、②筑前・豊前におけるかわた身分の生業、③かわた身分の人口増加とその背景、④おわりにという流れでした。

・報告2 森山沾一さん（前福岡県人権研究所理事長・福岡県立大学名誉教授）からは、「田川・筑豊の戦後の部落解放運動—石炭産業とのかかわり・水平運動の展開を中心として—」という標題で、提起されました。①田川・筑豊石炭産業と被差別部落の特徴、②田川・筑豊での水平社の結成と解放運動、③山本作兵衛と水平社運動との関わり、④敗戦前後の田川・筑豊での部落解放運動という流れでした。

・報告3 原 伸一さん（部落解放同盟福岡県連合会副委員長）からは、「田川・筑豊の戦後の部落解放運動—鉱害闘争・行政闘争から今日まで—」という標題で、提起されました。全国中央の政治や行政の関係について笑いを入れながら、語っていただきました。

・報告4 河西千津美さん（部落解放同盟福岡県連合会田川地区協議会女性部）からは、「田川・筑豊における識字・保育運動の歩み—自分の体験的活動を中心に—」という標題で、提起されました。①私の原点は識字学級です、②キャラバン隊としおん園、③同和保育所建設のたかい、④同和保育所のとりくみと現在、という流れでした。

皆さんが、熱のある提起でしたので、質疑応答の時間が取れなくて、シンポジウムは終了しました。

県内外から、大勢の参加がありました。

## (3) 史資料プロジェクト（塚本）

2023年11月11日（土）（於ししぶ交流センター）

2023年度第6回例会は、「こんな江戸時代を見えています」という標題で会員の西田静さんより提案、竹森さんより助言という形で進行しました。

はじめに、提案する豊前6郡の地域の成り立ちを説明していただきました。そして5項目の柱建てで話を進められました。

(一) 表向きだけでも〈惣皆済〉・・・の項で、仲津郡筋奉行大村藤兵衛は、代官に向けて「表向きだけでも〈惣皆済〉」できないかと訴えている。この年豊前では稲の出来が悪い(秋劣不毛という)中、他の5郡は皆済できているのに、・・・

(二) 文政12年大村藤兵衛の項で、「近世仲津郡における芝権をめぐって」という論考が部落解放史 ふくおか 2004年12月第116号に掲載されている。筋奉行大村藤兵衛が大庄屋に向けて申し入れをしている。

(三) 『コラム2 捨て子の「作法」』の項で、「捨子の作法」について説明されました。天保8年の国作手永大庄屋日記等に「捨子」についての論文があること。

(四) 京都市行橋部落史研究会の項で、京都市行橋部落史研究会について例会の内容を提案されました。

(五) 組織的な識字学級発祥の地・京都市行橋の項で、識字学級発祥の地としての京都市行橋について説明されました。

まとめとして、参加人数が少なくなってきた中、高校生がフェイスブックを見て、参加しましたといううれしいニュースがありました。

次回第7回例会は、12月9日(土)14時、ししぶ交流センターにて、竹森健二郎さんより、「朝鮮衡平社：白丁」について提案していただきます。多くの方の参加をお待ちします。

## Ⅱ <お知らせ>

### (1) 部落問題部会 第3回 研修会

今回の研修会内容は、昨年出版された絵本『いのちの花』の『実践事例集』(「人権研究所」の中の授業実践より、嘉麻市で行われた授業事例の発表です。併せて「井元麟之・人とその思想」の3回目の研修会を行います。内容は、「水平社宣の変遷」についてです。

多くの方のご参加をお待ちしています。学び合いませんか、教育・啓発の理論と具体的な実践について!!

日時：11月18日(土) 13:00 受付 13:30 開会

会場：福岡市教職員組合東部事務所

(福岡県福岡市東区馬出4丁目2-17)

当日の連絡先：09018719994

内容：

1 授業実践報告・「絵本いのちの花が生まれでた!!実践事例集」より

= 「主人公は 自分なんだ！」 = ～質問に答えない「質問集会」のとりくみ～

報告：中島亮太さん(稲築西義務教育学校)

2 井元麟之・その人と思想 第3回

= 「人の世に熱あれ 人間に光あれ」 = ～水平社宣言・12個の変遷をたどる～

報告：青木翼さん(稲築東義務教育学校)

参加費・資料代：500円

問合せ：公益社団法人福岡県人権研究所

TEL (092) 645-0388 FAX (092) 645-0387

### (2) ふれあいフェスタ 2023×第16回北九州市障害者芸術祭

北九州市制 60 周年記念 ふれあいフェスタ 2023 に福岡県人権研究所もブース出展いたします  
(全九州水平社創立 100 周年パネル展)。図書販売もいたします。

たくさんのお来場をお待ちしています！！

日時：11 月 19 日（日）

ふれあい広場 11:00～16:30 （当研究所ブースあり）

ふれあいステージ 13:00～16:30 （大ホール開場予定 12:30～）

会場：ウェルとばた 2・3 階（当研究所ブースあり）

大ホール、交流プラザほか

（北九州市戸畑区汐井町 1 - 6（JR 戸畑駅前））

※事前申し込みなし

※入場無料

【イベント詳細】

[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/file\\_0534.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/file_0534.html)

(3) 小正路淑泰『田原春次と堺利彦農民労働学校—社会民主主義派の水平運動と農民運動—』出版記念講演会

日時：11 月 23 日（木・祝） 13:30～15:30

内容：演題「部落史研究における本書の意義」

講師：竹森健二郎さん

演題「田原春次と曾祖父」

講師：平原守さん

演題「わたくしの部落史研究」

講師：小正路淑泰さん

参加費：無料

会場：香春町市民センター 2 階 第 1・2 会議室

（福岡県田川郡香春町大字高野 987-1）

※小正路淑泰『田原春次と堺利彦農民労働学校—社会民主主義派の水平運動と農民運動—』（花乱社）をテキストとして使用しますので、ご持参ください。なお、同書は会場で販売します。

(4) 2023 年度「啓発担当者のための人権講座」

日時：12 月 1 日（金）13:00～16:30 （受付 12:30～）

内容：演題「世界の人権、日本の人権 ～これからの人権～」

講師：横田耕一さん（九州大学名誉教授）

受講費（資料代を含む）：2000 円 研究所会員 1000 円

会場：福岡市立中央市民センターホール

（福岡市中央区赤坂 2-5-8）

【イベント詳細】

<http://www.f-jinken.com/event.html>

【参加お申し込みフォーム】

<https://forms.gle/yCHx65Y4ZiJi5cpm6>

(5) 9 月 25 日（月）21 時～テレビ朝日 ABEMA Prime（ネットテレビ）に川口泰司さんがご出演

され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？』（福岡県人権研究所）が紹介されました。以前、『リベラシオン』144・186号に東日本大震災被災地支援についてご執筆された片岡遼平さんもお出演されています。以下のサイトでご視聴いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=o0opx\\_QdRe4](https://www.youtube.com/watch?v=o0opx_QdRe4)

『「寝た子」はネットで起こされる！？』お求めはこちら↓  
<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

12月10日(日)「森崎和江『匪賊の笛』を読む学習会③」(講師：うりう ひさこさん)

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

11月24日(金)「映画『縁の下のイミグレ』上映準備会議」

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

11月18日(土)「授業実践報告」(報告：中島亮太さん)、「井元麟之・その人と思 第3回」  
(報告：青木翼さん)

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』(川口泰司著)  
新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】